



## 賛助会員

北海道栽培漁業振興公社 (〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西7丁目北海道第二水産ビル4階)

阿寒観光汽船株式会社 (〒085-0467 北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉1-5)

全国海苔貝類漁業協同組合連合会 (〒273-0017 千葉県船橋市西浦3-2-2)

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (〒186-8650 東京都国立市谷保1769)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内2-5-60)

マイクロアルジェコーポレーション株式会社 (〒500-8148 岐阜市曙町4-15)

(有) 祐千堂葛西 (〒038-3662 青森県北津軽郡板柳町大字板柳字土井38-1)

株式会社ナボカルコスメティックス (〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-29-7)

日本製薬株式会社ライフテック部 (〒598-8558 大阪府泉佐野市住吉町26)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目28 札幌エルプラザ11階)

総合科学株式会社 (〒540-0024 大阪市中央区南新町1-4-8)

(株) 環境総合テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒651-0084 兵庫県神戸市中央区磯辺通3-1-2 第三建大ビル10階)

### 表紙写真の説明

作品名:「ジャバラノリ」

制作者: 能登谷正浩 (東京海洋大, 右の写真)

解説: 今号は大会ロゴです。以下制作者による解説:

50 ml の小瓶でいろいろな海藻を培養して楽しんでいたら、ジャバラノリの色と細胞配列の素晴らしさに魅了されたことがある。和の風合いを持つ造形は一部を切り取り並べると、ロゴの左側のように真に「江戸小紋」を思わせる柄となる。柄のみを配置して種名を当てさせても良かったが、少々マニアックなので、右に正体とその美しさを見ていただいた。雄性生殖器官などは、野外藻体では一部が欠けたり、付着物のために完全なものとはなかなか見られないが、培養では非常に美しい形態が観察できる。このほか、小型の紅藻では、ヒメコザネやキヌイトグサ、フタツガサネ、ベニハノリ、サエダなどもデザイン的利用が可能と思う。(能登谷正浩)



Front cover photo: “Jabara-nori, *Leveillea jungermannioides* (Martens et Hering) Harvey (Rhodophyceae)” showing an artistic design formed by repetition of pattern of the algal thallus. The design is similar to Edo-komon or a Japanese traditional patterns for kimono.